



2019年7月24日

各位

会社名 富士通フロンテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 川上 博
（コード番号 6945 東証第2部）
問い合わせ先 経営企画室長 堀部 達夫
（Tel 042-377-2544）

コスト構造改革に伴うリソースシフトの実施について

当社は、中期事業計画に基づく安定的な収益基盤構築施策の一環として、今後、コスト構造改革を鋭意推進し、その中の一施策として社内リソースシフトの実施を本日の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. リソースシフトの理由ならびに概要

当社は、中期事業計画に基づき、ビジネスの領域拡大および基盤強化に関してこれまで検討を重ねてまいりました。その結果、グローバルプロダクトビジネスにおける成長戦略の着実な実行と、それに伴う安定的な収益基盤の構築を図るため、コスト構造改革として下記の取り組みを実施することが必要と判断いたしました。

【コスト構造改革の骨子】

- (1)プロダクト開発・製造・調達体制の再編・強化
- (2)ソリューション・サービス起点でのビジネス強化
- (3)不採算事業の見直し
- (4)上記(1)～(3)に関連した全社的なリソースシフト

上記の内、(4)の全社的なリソースシフトにつきましては、成長領域への配置転換などによる人的リソースの適正配置を実施するもので、国内従業員の一部については早期退職優遇制度を活用することによりグループ外へのキャリア転進を希望する従業員に対して一定の支援を行います。本施策による退職者は100名程度と予想しております。

当社は、これら一連のコスト構造改革施策を通じてビジネスの成長を支える強いビジネス基盤を構築し、今後も成長と利益の両輪をもって、中期事業計画の達成に鋭意取り組んでまいります。

2. 今後の見通し

コスト構造改革の実施に伴い発生する退職特別加算金等の費用は、本年度決算において特別損失に計上する予定です。ただし、計上金額および当期業績への影響につきましては、現時点では未確定であることから、今後、早期退職優遇制度の募集結果（応募者数および費用）等を含めまして確定した段階で速やかにお知らせするものいたします。